

# 学生の確保の見通し等を記載した書類

## 目次

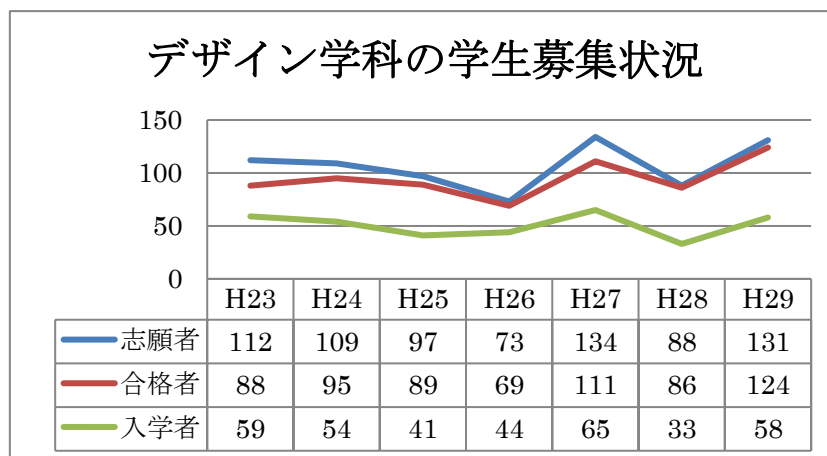
- ①過去7年間のデザイン学科の学生募集状況
- ②デザイン学科の学生募集の問題点
- ③高校生に対するアンケートの実施
- ④学生の確保の見通し
- ⑤同分野を有する近隣大学への志願動向調査
- ⑥入学生受入れ方法の工夫
- ⑦人材需要の動向等社会の要請とキャリア教育
- ⑧ 学生確保に向けた具体的な取組状況

以下、愛知産業大学造形学部「スマートデザイン学科」の定員充足の見込みについて、基礎となる愛知産業大学の過去の入試状況を踏まえながら、説明することとする。

### ①過去7年間のデザイン学科の学生募集状況

過去7年間のデザイン学科（平成4年度に「産業デザイン学科」として設置され、平成16年度に「デザイン学科」に名称変更）は、図1のような学生募集状況をたどってきた。

図1



表から明らかなように、過去7年間は入学定員を満たしたことがなく、平成25年度からは入学定員を20名減の70名に削減したにもかかわらず、入学定員を満たすことができていない。

他方、他の建築学科と総合経営学科は、学生確保に苦しみながらも、入学定員を満たしつつある。

図2、図3は、本学の他学科との学生確保の状況であるが、同じ造形学部の建築学科が過去3年連続で入学定員を充足し、総合経営学科も平成29年度は入学定員を充足した。それに対して、デザイン学科の学生募集状況は、他学科とも比較しても低調であると判断せざるを得ない。

図 2

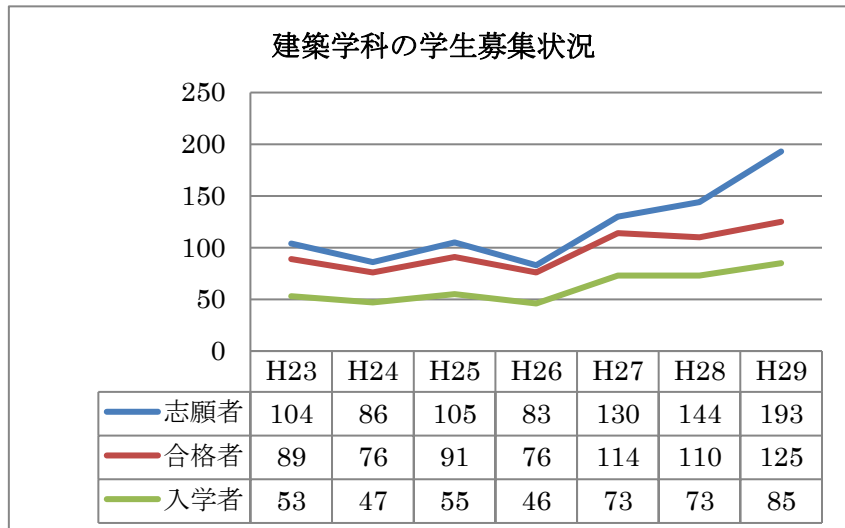


図 3

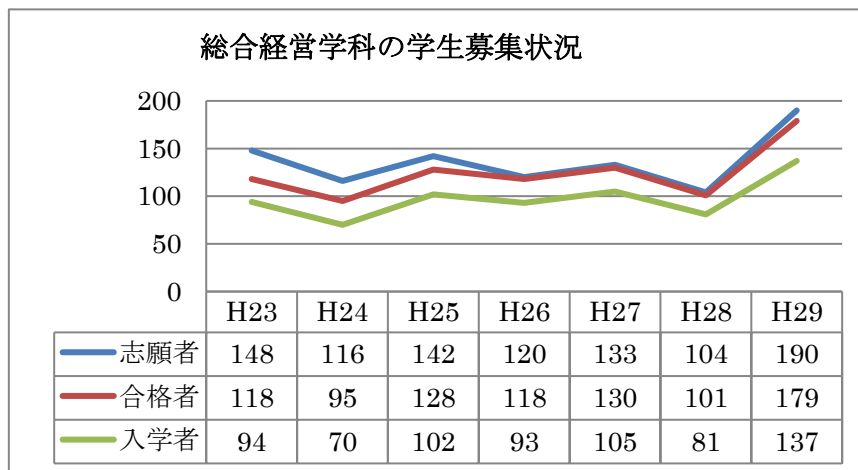


図 4

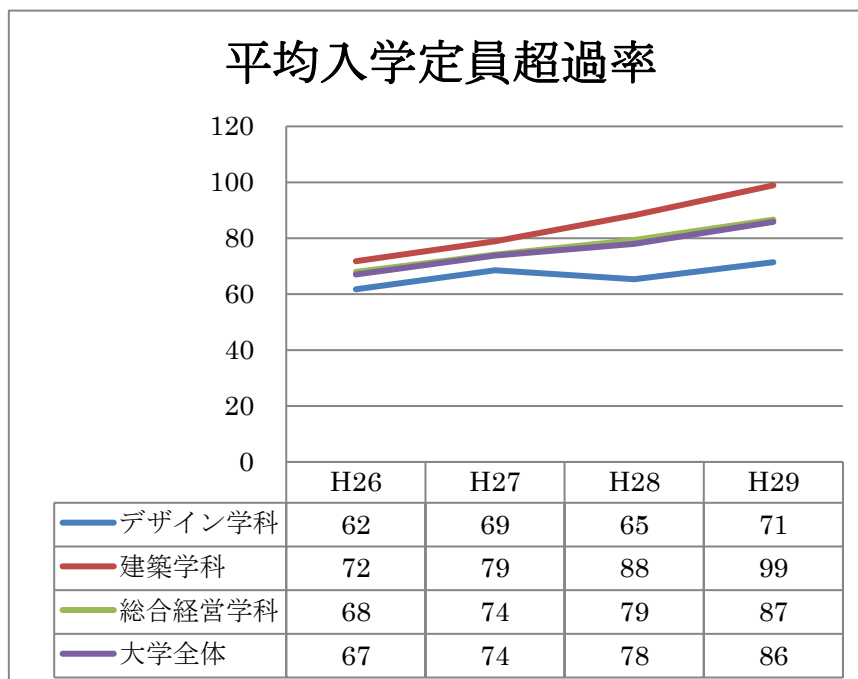


図4は、3学科の年度ごとの「平均入学定員超過率」のグラフであるが、総合経営学科が大学全体の傾向を表していると考えられるが、それに比べると、デザイン学科は一層の改善努力が求められる。

## ②デザイン学科の学生募集の問題点

デザイン学科の学生募集の厳しさの原因は何かについて、将来計画委員会、自己点検評価委員会、及び教授会やデザイン学科会議において議論されたが、「18人口の減少」「デザインは景気に左右される」等の一般論で終始していた。

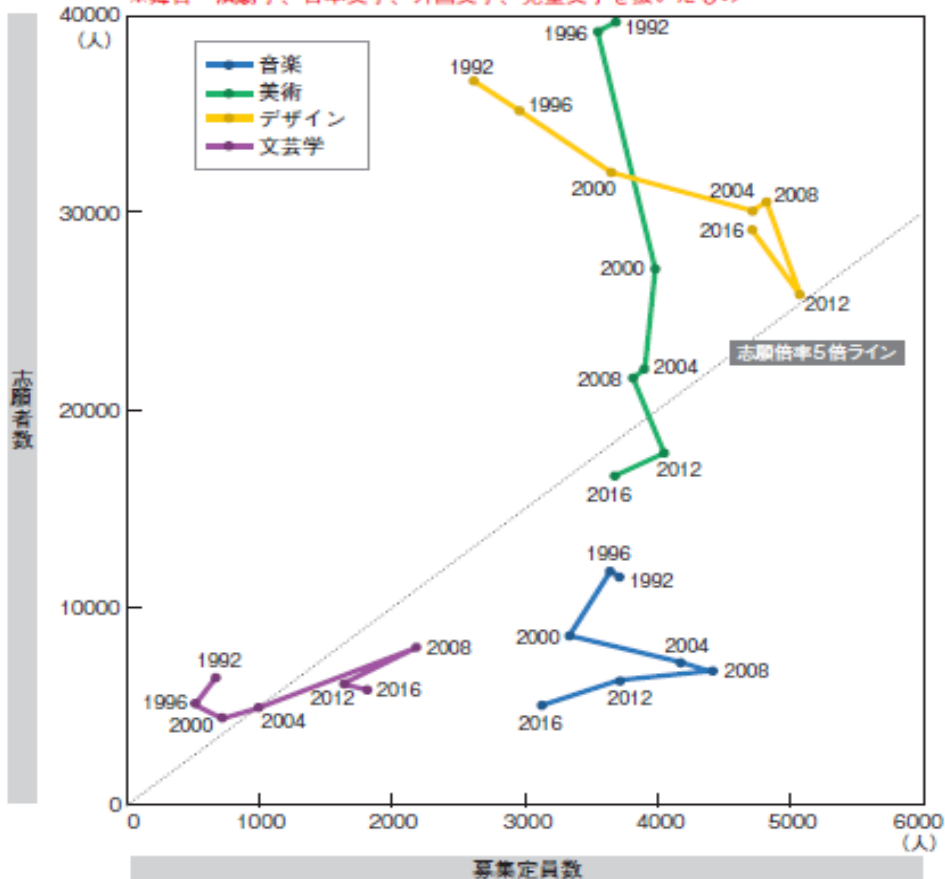
もちろん、昨今の進学塾等の志願動向調査の結果によると、デザイン学科の落ち込みは激しいものがあり、大枠としては議論の基礎としては共通認識を持つ必要はあるであろう。参考までに、リクルートの『カレッジマネジメント』の記事には、デザイン学科の将来に関して非常に暗い分析が公表されている。

図6

図表 2-3a 芸術・文学・表現系統の動向

■志願者数×募集定員数 推移 (1992、1996、2000、2004、2008、2012、2016)

※舞台・演劇学、日本文学、外国文学、児童文学を抜いたもの



\*リクルート『カレッジマネジメント』205号(2017)

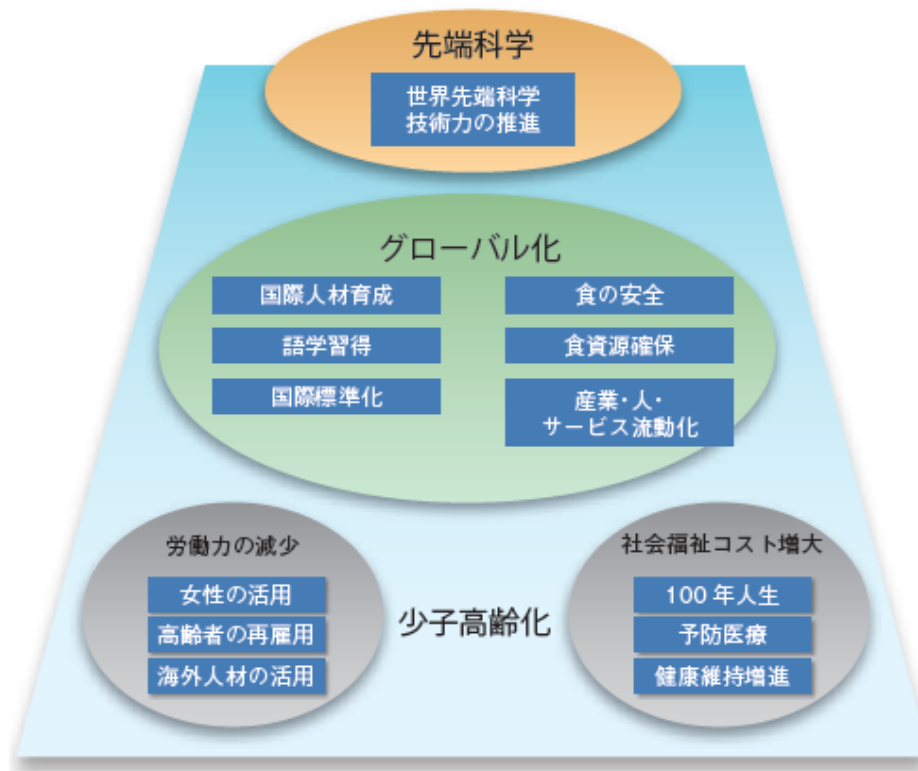
「学部・学科トレンド2017」能地泰代/鹿島 梓 カレッジマネジメント編集部

また、同時に、今後起こり得る社会変化も再掲されていた。

先回りするならば、検討の結果は、デザインに情報テクノロジー等の先端技術を取り入れた新しい学科「スマートデザイン学科」への改組の姿が確認できたように思われる。

図 7

図表 9 今後起こり得る社会変化 (小誌 190 号より一部再掲)



同様の趣旨で、今後の情報テクノロジー関係の人材需要の増大に対する調査も多く、この方向での人材養成が急務である点も、改組の重要な重要な観点になった。

\*総務省「情報通信白書」(平成 26 年度) 第 2 章「ICT による成長と国際競争力強化」

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h26/html/na000000.html>

独立行政法人情報処理推進機構 IT 人材育成本部 IT 人材動向調査 (IT 企業向け)

『グローバル IT 人材の動向』【データ編】[http://www.ipa.go.jp/jinzai/jigyuu/hakusyo\\_dl\\_2016.html](http://www.ipa.go.jp/jinzai/jigyuu/hakusyo_dl_2016.html)

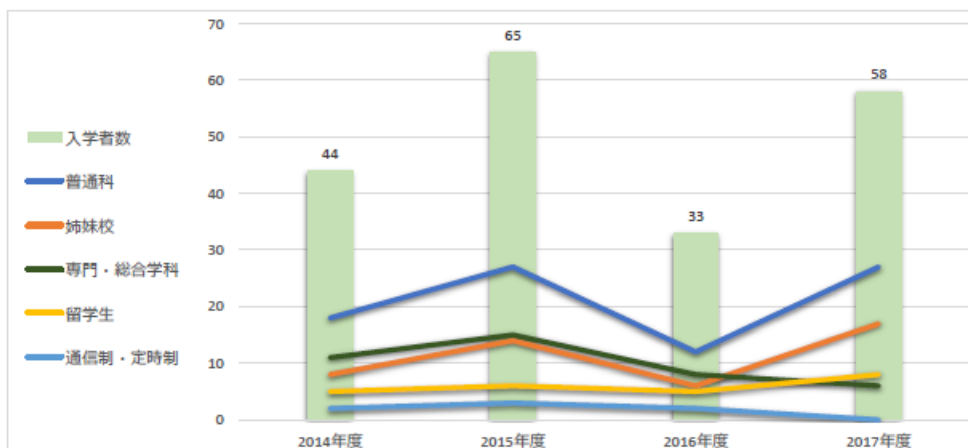
上記のような情報とともに、学内の検討会議から、従来より、より詳しく志願者の「属性」に踏み込んだ分析をもとに、以下のようなデザイン学科の入学動向の分析が示された。

即ち、デザイン学科の入学者の減少の主な原因の一つは、「専門系高等学校からの志願者の減少」、特に「工業系高等学校からの志願者の減少」にあることが突き止められた。このことを示しているのが、以下の図 8 である。

図 8

デザイン学科 入学者分析

2017年7月19日



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
普通科	18	27	12	27
姉妹校	8	14	6	17
専門・総合学科	11	15	8	6
留学生	5	6	5	8
通信制・定時制	2	3	2	0
入学者数	44	65	33	58

※「姉妹校」は全日制・単位制の合計。「専門・総合学科」「通信制・定時制」に姉妹校出身者は含みません

専門学科内訳  
(系統別)

	デザイン	芸術	芸術
デザイン工学	デザイン	デザイン	
工業デザイン		応用デザイン	服飾デザイン
生活デザイン	生活デザイン		
	生活文化		
建築	建築	建築デザイン	建築デザイン
	インテリア	設備システム	
	森林科学	環境デザイン	
情報経済	情報ビジネス		
生活情報	情報システム		
理数		情報機械	
電気			
機械	機械		
英語	商業	商業	
総合	総合		総合

- 「姉妹校」、生徒数が多い「普通科」への募集は最重要
- 落ち込み気味である、「専門学科」へのアプローチ、特に情報系、工業系が重要

図 8 から明らかになったことは、デザイン学科に従来志願していた「専門学科」、特に「情報系」「工業系」の落ち込みが激しいことであった。

③高校生に対するアンケートの実施

上記の2つのポイント、即ち「デザインに情報テクノロジーを融合した教育カリキュラムの実現」と「工業系、情報系の専門学科の高校生への訴求力」のポイントを含んだアンケートを実施し、高校生の生の声を聞くことにし、以下がその結果である。

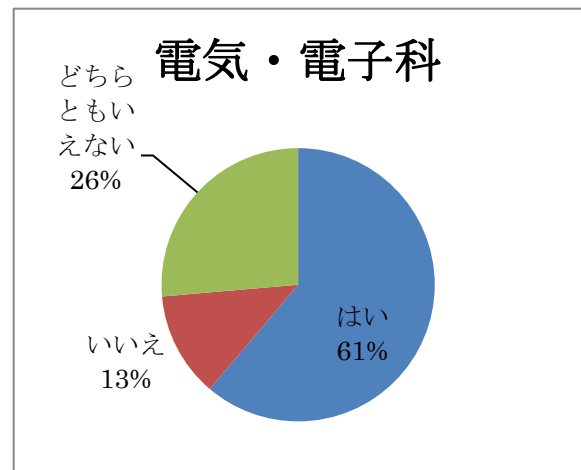
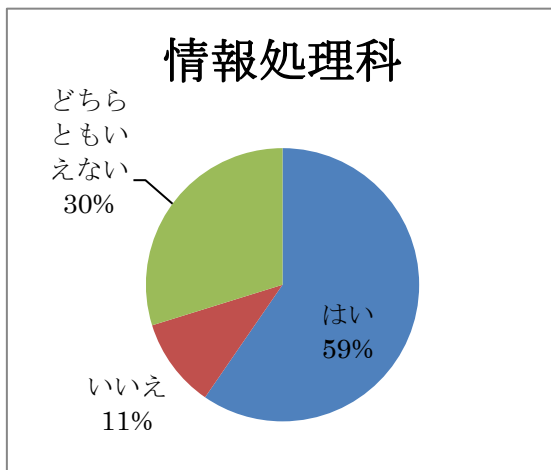
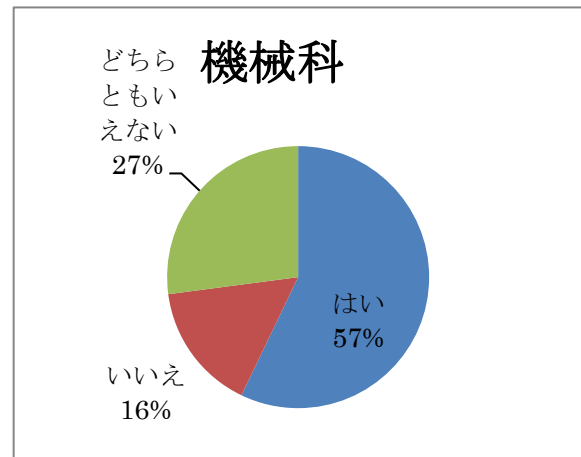
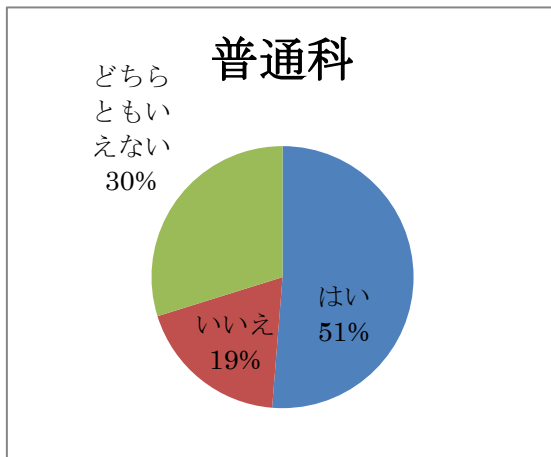
「アンケートの趣旨」

近年、AI (人工知能) や IoT (モノのインターネット) 等に代表される第 4 次産業革命が、

よく話題にのびります。そこで、この調査では、現在の高校生が、AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）等に関してそのような意識を持っているかを調査・分析し、その結果を本学の教育活動に活用する目的で実施するものです。皆さんの日ごろのありのままの理解や興味を記入してください。」

\*アンケート用紙、及びその他の分析結果に関しては、添付資料1を参照ください。

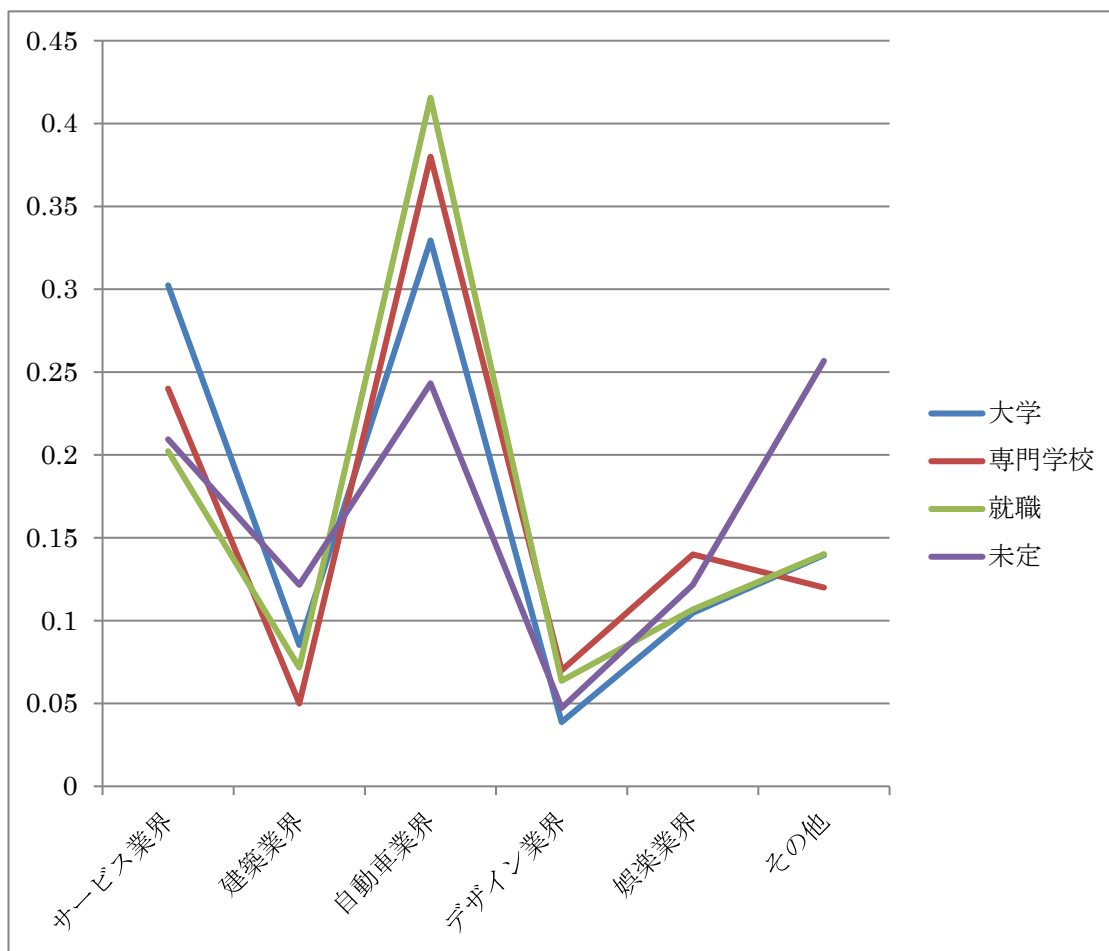
「Q13 AI、IoT、ロボット、ビッグデータ、VR 等について、機会があれば、学んでみたいと思いますか。」



この質問Q13に対して、明らかに「機械科、情報処理科、電気・電子科」の生徒さんのパーセンテージは、「普通科」の生徒さんより高いことがわかる。

言い換えれば、「機械科、情報処理科、電気・電子科」の生徒さんにとって、AI、IoT、ロボット、ビッグデータ、VR 等について学べる機会があれば、進学に対する重要な動機づけなる、と考える。

「Q14 AI、IoT、ロボット、ビッグデータ、VR等の進歩が影響すると思う業界は何か、選んでください。」



また、この質問において、「デザイン業界」のパーセンテージが低いということは、見方を変えれば、「認知度が低い」、即ち「デザインとAI、IoT、ロボット、ビッグデータ、VR等の情報テクノロジー」との関係の認知度を上げれば、これも進学に対する重要な動機づけなる、と考える。

なお、「自動車業界」が高いのは愛知県の特長性かもしれないが、「サービス業界」でのAI、IoT、ロボット、ビッグデータ、VR等の情報テクノロジーによるスマート化が進展するという予想が、大学進学希望者に多いということも、「スマートデザイン学科」の広報手法次第で、進学に対する重要な動機づけなる、と考える。

#### ④学生の確保の見通し

上記のような分析から、スマートデザイン学科は、デザイン手法として、本来の人の手や頭による創造を基礎として、情報通信技術や人工知能を意識し利用する意味で、総称的な概念である「知能化＝スマート」を取り上げ、さらに、より広く深くユーザーを理解し、潜在的なニーズを発見して創造的且つ新規性を持つ企画・計画・設計・マーケット・メンテナンスをトータルに思

考・実施出来る総合的な役割を担う「デザイナー」を育成する学科として、近年、本学のデザイン学科に関心を持たなかった高校生等の掘り起こし、特に本学の姉妹校2校を中心に、「工業科」「情報科」高校生の志願者が度増加し、入学定員を確実に確保できるものと確信する次第である。

付記すると、姉妹校2校との「高大連携協議会」において、新学科の情報は適宜紹介することによって、姉妹高校からの進学者、特に「工業科、情報科、電気・電子科」からの「スマートデザイン学科への進学者」の掘り起こしに、協力いただける、と確信している。

⑤同分野を有する近隣大学への志願動向調査

近隣大学への志願動向を直接調査できるわけではないが、姉妹校2校の生徒の近隣大学への進学状況、及び入学者アンケートの中から、「併願先大学」を分析すると、下記のようなになる。

図9

愛知産業大学三河高等学校 平成28年度進学状況

私立大学	合格者数	国公立大学	合格者数
愛知産業大学	28	長野大学	6
南山大学	18	室蘭工業大学	1
名古屋学院大学	18	高崎経済大学	1
中部大学	14	名古屋市立大学	1
中京大学	11	豊橋技術科学大学	1
愛知大学	10	合計	10
愛知学院大学	10		
名古屋商科大学	10		
名城大学	8		
		私立短期大学	合格者数
日本福祉大学	6	愛知工科大学自動車短期大学	10
愛知工科大学	5	名古屋文化短期大学	2
名古屋経済大学	5	岡崎女子短期大学	2
愛知工業大学	4	豊橋創造大学短期大学部	1
愛知淑徳大学	4	中日本自動車短期大学	1
立命館大学	4	愛知みずほ大学短期大学	1
椋山女学館大学	3	愛知学泉短期大学	1
大同大学	3	三重短期大学	1
豊橋創造大学	3	合計	19
愛知学泉大学	2		
愛知みずほ大学	2		
至学館大学	2		
東海学園大学	2		
藤田保健衛生大学	2		
近畿大学	2		
長崎国際大学	2		
慶應義塾大学	1		
明治学院大学	1		
中央大学	1		
文教大学	1		
専修大学	1		
帝京大学	1		
東海大学	1		
東京工科大学	1		
関東学院大学	1		
金沢工業大学	1		
北陸大学	1		
岐阜経済大学	1		
静岡理工科大学	1		
常葉大学	1		
愛知東邦大学	1		
星城大学	1		
金城学院大学	1		
同朋大学	1		
名古屋芸術大学	1		
名古屋外国語大学	1		
人間環境大学	1		
羽衣国際大学	1		
神戸女学院大学	1		
合計	201		



図 10

愛知産業大学工業高等学校 平成28年度進学状況

私立大学	合格者数	専門学校・その他	合格者
愛知産業大学	17	ELICビジネス&公務員専門学校	15
大同大学	11	名古屋工学院専門学校	12
愛知工業大学	5	トライデントコンピュータ専門学校	8
中部大学	4	名古屋ビジュアルアーツ	7
日本福祉大学	4	名古屋理容美容専門学校	4
名古屋学院大学	4	あいち福祉医療専門学校	3
愛知東邦大学	3	日産愛知自動車大学校	3
愛知工科大学	2	名古屋コミュニケーションアート専門学校	3
皇學館大学	2	東海工業専門学校金山校	2
山梨学院大学	2	大原法律公務員専門学校	2
星城大学	2	名古屋スクールオブビジネス	2
朝日大学	2	名古屋デザイナー学院	2
同朋大学	2	中日美容専門学校	2
福井工業大学	2	中日本航空専門学校	2
名古屋商科大学	2	名古屋医健スポーツ専門学校	2
名古屋文理大学	2	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校	2
愛知学院大学	1	名古屋モード学園	2
岐阜聖徳学園大学	1	名古屋美容専門学校	1
近畿大学	1	愛知工業大学情報電子専門学校	1
四日市大学	1	愛知調理専門学校	1
人間環境大学	1	専門学校トヨタ名古屋自動車大学校	1
中京大学	1	専門学校名古屋医専	1
東海学院大学	1	名古屋栄専専門学校	1
東海学園大学	1	東京IT会計専門学校	1
法政大学	1	トライデントスポーツ医療看護専門学校	1
名古屋芸術大学	1	中和医療専門学校	1
名城大学	1	東海医療科学専門学校	1
合計	77	名古屋観光専門学校	1
		名古屋調理師専門学校	1
私立短期大学	合格者数	名古屋辻学園調理専門学校	1
愛知工科大学自動車短期大学	13	名古屋デジタル工科専門学校	1
中日本自動車短期大学	2	名古屋動物専門学校	1
中部学院大学短期大学部	1	名古屋ビューティーアート専門学校	1
合計	16	名古屋リゾート&スポーツ専門学校	1
		名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校	1
		ニチエイ調理専門学校	1
		日本福祉大学中央福祉専門学校	1
		保育・介護・ビジネス名古屋専門学校	1
		名鉄自動車専門学校	1
		理学・作業名古屋専門学校	1
		合計	96

上記、図 9 と図 10 の、姉妹校 2 校の進学動向から、工業系、情報系をピックアップしただけでも、該当する大学への進学者は多く、この何割かでも「スマートデザイン学科」で吸収できれば、定員充足は確実である。

⑥入学生受入れ方法の工夫

現在の入試制度の中で、特に「AO入試」を有効に広報し、AOガイダンスを通じて、スマートデザイン学科の専門分野への関心と学習意欲を高め、学習目的を明確にした上で、入学者の増加につなげたい。

## ⑦人材需要の動向等社会の要請とキャリア教育

新学科は、デザイン手法として、本来の人の手や頭による創造を基礎として情報通信技術や人工知能を意識し利用する意味で、総称的な概念である「知能化＝スマート」を取り上げ、さらに、より広く深くユーザーを理解し、潜在的なニーズを発見して創造的且つ新規性を持つ企画・計画・設計・マーケット・メンテナンスをトータルに思考・実施出来る総合的な役割を担う「デザイナー」を育成する意味として、「スマートデザイン学科」とした。

特に、デザイン手法として、本来の人の手や頭による創造を基礎として情報通信技術や人工知能を意識し利用する意味で、総称的な概念である「知能化＝スマート」を取り上げ、さらに、より広く深くユーザーを理解し、潜在的なニーズを発見して創造的且つ新規性を持つ企画・計画・設計・マーケット・メンテナンスをトータルに思考・実施出来る総合的な役割を担う「デザイナー」を育成することを、最も大きな特徴とする。

このようなデザインと情報テクノロジーの融合における人材養成は、各種調査結果から明らかのように、大いに期待される場所である。

\*総務省「情報通信白書」（平成 26 年度） 第 2 章「ICT による成長と国際競争力強化」

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h26/html/na000000.html>

独立行政法人情報処理推進機構 IT 人材育成本部 IT 人材動向調査（IT 企業向け）

『グローバル IT 人材の動向』【データ編】[http://www.ipa.go.jp/jinzai/jigyuu/hakusyo\\_dl\\_2016.html](http://www.ipa.go.jp/jinzai/jigyuu/hakusyo_dl_2016.html)

また、スマートデザイン学科も含み、本学では、社会的・職業的自立に対する教育の一つの柱として、「キャリアデザイン I」「キャリアデザイン II」の必修科目を履修させ、進路を視野に入れた学修の取組みを促す仕組みを導入し、学生自身の適性の気づきや進路選択を支援する教育プログラムを実施する。さらに、「インターンシップ」についても「インターンシップ」という科目を開講し実施する。

また、既に現在、「キャリア支援課」が学生のキャリア形成支援、就職活動支援、資格取得支援等の中心的組織として、キャリア委員会及び担任と協働して、学生の支援を行っている。このような組織的取組の結果、建築学科では100%の就職内定の実績をあげ、総合経営学科及びデザイン学科でも90%台の就職内定率を上げている。従って、「スマートデザイン学科」に関しては、それ以上の成果が期待できる、と確信している。

付記すると、「スマートデザイン学科」に新たに赴任される多くの教授陣が、実社会、特にビジネス経験の豊富な方々のため、積極的に就職支援のための支援体制を学科として確立できると、考える。

## ⑧ 学生確保に向けた具体的な取組状況

最後に、「全員野球」ではないが、入試広報課において、高等学校を「重点校とそれ以外の高等学校」等と独自に分類し、教職員全員で分担し、最低年 3 回の高校訪問は実施している。

また、オープンキャンパスを年間 6 回開催し、それ以外の日時でも、大学訪問を受け入れている。

なお、「スマートデザイン学科」の設置時には、「デザインと AI、IoT、ロボット、ビッグデータ、

VR等の情報テクノロジー」との関係をクローズアップした特別なオープンキャンパス等を、高校生及び高校教員対象にも開催する予定である。

高校生の皆さんへ

### AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）等に関する意識調査【無記名】

この調査は、高校生が、AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）、ロボット（自動化機械）、VR（仮想現実）等に関してどのような意識を持っているかを調査・分析し、その結果を本学の教育活動に活用する目的で実施するものです。皆さんのありのままの理解や興味を記入してください。

以下の各設問について、マークシートの該当番号にマークしてください。

あなた自身について、該当する番号をマークしてください。

<b>Q1</b>	学年	①高校1年生	②高校2年生	③高校3年生
<b>Q2</b>	在籍する課程	①普通科 ③電気・電子科	②機械科 ④電気科	③情報処理科 ⑤電子科
<b>Q3</b>	性別	①男	②女	
<b>Q4</b>	卒業後の進路	①大学 ③就職	②短期大学 ④その他	③専門学校 ⑤未定

以下の用語を聞いたことがありますか、該当する番号をマークしてください。

<b>Q5</b>	AI（人工知能）	①よく聞く	②聞いたことがある	③聞いたことがない
<b>Q6</b>	IoT（モノのインターネット）	①よく聞く	②聞いたことがある	③聞いたことがない
<b>Q7</b>	ロボット（自動化機械）	①よく聞く	②聞いたことがある	③聞いたことがない
<b>Q8</b>	ビッグデータ（大容量情報）	①よく聞く	②聞いたことがある	③聞いたことがない
<b>Q9</b>	VR（仮想現実）	①よく聞く	②聞いたことがある	③聞いたことがない

以下の中で、あなたが最もよく知っているものはなんですか、該当する番号をマークしてください。

<b>Q10</b>	① AI	② IoT	③ ロボット	④ ビッグデータ	⑤ VR
------------	------	-------	--------	----------	------

以下の中で、あなたが最も興味を持っているものはなんですか、該当する番号をマークしてください。

<b>Q11</b>	① AI	② IoT	③ ロボット	④ ビッグデータ	⑤ VR
------------	------	-------	--------	----------	------

AI等の進歩に関する質問です、該当する番号をマークしてください。

AI、IoT、ロボット、ビッグデータ、VR等の進  
Q12 歩が、将来人々の働き方に影響すると思います ①はい ②いいえ ③どちらともいえない  
か。

---

AI、IoT、ロボット、ビッグデータ、VR等につ  
Q13 いて、機会があれば、学んでみたいと思います ①はい ②いいえ ③どちらともいえない  
か。

---

AI、IoT、ロボット、ビッグデータ、VR等の進  
歩が影響すると思う業界は何か、選んでくださ  
Q14 い。  
(複数回答 ①サービス業界 ②建築業界 ③自動車業  
界  
④デザイン業界 ⑤娯楽業界 ⑥その他  
可)

---

ご協力、ありがとうございました。